

# 考え方 野菜・技術



北部農業センター農産課  
農業主幹 堀田 行敏

## サツマイモ

栗のように粉質で甘く、女性の方が好んで食べる野菜の代表です。掘りたてのサツマイモはホクホクで、美味しいありません。7月号で紹介したかぼちゃと同じようにキュアリング処理を行います。収穫したものを95%以上の湿度で、温度31～33°Cの環境に4日ほどおいてコルク層を発達させて病原菌や腐敗菌から守ることも、最も低でも収穫から10日間保存してテンテンの糖化を図る追熟をします。カボチャと違う点は、サツマイモは貯蔵期間が長い方が糖化が進んでおいしくなるという点です。ある程度の通気性を保つて、90%ほどの湿度で温度変化を小さくして13°Cほどで保てば夏でもまで保存できます。10°C以下では低温障害で腐敗したりします。

### サツマイモのおいしさ

#### 品種

最近出回っている品種は、いずれも甘いものばかりで、品種名が浸透している数少ない野菜の一つです。皆さんが高い浮かぶ品種は何でしょうか。「ぐにまるか」、「安納芋」、「シルクスイート」、「なると金時」、「ぐニアズマ」、それとも他の品種でしょうか。

最初の2品種は、ねうどり感があり甘みの強い焼き芋向きの代表品種です。「シルクスイート」も焼き芋向きの品種で、なめらかな肉質で、すつきりとした甘さで人気があります。「なると金時」は、「高系14号」という品種から選抜された地方品種で、「ニアズマ」と同じく天ぷらや大学芋に向く、ホクホク感のある甘い芋です。

全国で一番作付けされている品種は、

「ガネセンガン」という品種で、今では芋焼酎に欠かせない原材料です。以前は臭いや独特の味から敬遠されてきた芋焼酎を、全国区のお酒に押し上げた品種なのです。

#### 植え方と収穫の特徴

種類	直立植え	斜め植え	舟底植え	水平植え
芋の着き方				
株間	35 cm			45 cm
芋数/株	少			多
収穫期	早い			遅い

ボウのようになりやすいです。

③芋を食害するゴガネムシ類の幼虫は大敵です。その対策として、作付け前にダイアジノン粒剤<sup>5</sup>を土壤混和していくだけ。被害が大きいようなら、7月上旬ごろで収穫30日以上前に、再度、作条に同剤を散布して軽く混和します。

④収穫が遅れると芋が大きくなり過ぎて果形が乱れ、商品価値が低下します。収穫の目安は植え付けから90～140日で、霜が降りるまでには終えます。目安時期になつたら品種ごとに試し掘りをして、大きさを確認してから、収穫します。目安は4月の植え付けで8月中旬頃、5月上旬植え付けで10月上旬頃、5月中旬植え付けで10月中旬です。

⑤最初に紹介したとおり、収穫したての芋はおいしくありません。収穫後は、キュアリングと貯蔵でテンテンの糖化を10日以上促し、美味しさを引き出します。

### 栽培の5つのポイント

サツマイモは比較的手をかげずに栽培できる野菜です。

1 排水性の良い砂壠土が栽培に適し、酸性土壤を好む野菜なので、石灰質資材は多用しないでください。また、施肥量が多いとつるが茂りすぎるつるボケとなりやすいので注意が必要です。芋の肥大には磷酸やカリが必要なことから、窒素成分が低く、りん酸やカリ成分を高めてある甘譜用の専用肥料を適量施用します。

2 根が出て7～10日で、芋の出来が決まります。植え付け後の土の温度が22～24°Cで、土の通気<sup>6</sup>が良く、カリ肥料が多い状態が良くて、根がスムーズに伸びられるよう早く活着させることです。土が乾燥して硬く、地温が高い状態では芋がゴボウのようになりやすくなります。

3 芋を食害するゴガネムシ類の幼虫は大敵です。その対策として、作付け前にダイアジノン粒剤<sup>5</sup>を土壤混和していくだけ。被害が大きいようなら、7月上旬ごろで収穫30日以上前に、再度、作条に同剤を散布して軽く混和します。



栽培の詳細は、下記の2次元コードやお手持ちの資料などを参考にしてください。

